

この新聞に関する
ご意見・ご感想は
内線番号6096まで

新大職組新聞

2025年度 vol.3

2025年
12月
発行

相談相手としての 職員組合

職場のことを相談する相手はいますか。新潟大学職員組合に加入すると、部署や職種の枠を超えた相談相手が見つかります。

組合員は組合にどんな相談をしているの？

何でも相談できます。相談内容のほとんどが人間関係に関わることです。例えば裏面の記事のように、メールの書き方を相談することもできます。他の部署・職種の人たちと話することで、解決のアイディアが浮かんできます。

顧問弁護士に無料で相談できる

新潟大学職員組合に加入すると顧問弁護士に無料で2回相談することができます。トラブルが起きたとき「弁護士に相談しました」の一言が力になります。公用車を破損した時の弁済について適切な処理を実現した例もあります。

他のコミュニティーとの違いは？

大学内には様々な問題が生じます。注意深く見ると、何らかの利害対立が関係していることが多いです。「空気を読んで」問題の本質を避けてしまい、解決が先送りにされることもあります。「あえて読まずに」利害対立に切り込むことも、独立して運営されている労働組合の強みの一つです。

他の大学の組合との交流

全国の国立大学・高専の労働組合と連帯して行動をしています。近年は県内他大学との交流も図っています。

組合に入りたい

組合に入るとこの環境で生きるための方法とともにこの環境を知り、どう変えるかという視点を持つことができます。**職員なら誰でも加入できます。**内線番号6096かunion@niigata-u-union.sakura.ne.jpまでご一報ください。裏面にある記事で組合の役割をより具体的にご理解いただけるかと思います。

2025年10月14日にAさんが新潟大学職員組合に遊びに来てくれました。Aさんは新潟大学の職員でした。組合員でした。久しぶりに再会した委員長とAさんの会話の一部を紹介します。労働組合の意義を再確認できるような会話でした。新しい職場の様子も聞きました。新潟大学が抱える問題について重要なご指摘をいただきました。

再会

委員長：Aさんお久しぶりです。お元気でしたか。
Aさん：腰痛ですけど元気です。今日は代休日なんで、遊びに来ました。
委：カンパ金をくださったそうじゃないですか。
A：ほんとお世話になつたんで置いておきます。
委：うちら、そんなにAさんに貢献しましたっけ。ありがとうございます。

新潟大学での職場トラブル

委：ところで、組合との最初の出会いって何だったんですか。
A：最初は〇〇（新潟大学のある職場）で働いていたんですよ。人間関係で本当に困っていました。
委：ああ、その話、他の組合員から聞いたことがあります。どんな感じの職場だったんですか。
A：なんか、トラブルが起きた時に誰かのせいにするんですよ。そういうターゲットが作られちゃって。そのターゲットも交代したり、広がったりして。
委：それは大変でしたね。
A：先生（大学教員）も職場にいて解決しようしてくれたけど、いろんな人の話を聞いて、じっくり判断することしないで、素早く解決しようとするんです。
委：ああ、答え早く出しちゃいたくなる感じの人ですね。期末試験じゃないんだからそれじゃ困りますよね。私も気をつけないといけないですね。ところで、そのトラブルに見舞われた時はまだ組合に入っていたなかったんですよね
A：はい。本当に困って、組合（新潟大学職員組合）に連絡して、そしたら近くまで、安達さん（組合職員の安達裕仁書記）と（当時の）書記長が来てくれたんです。

組合を活用するベストタイミング

委：でも解決は容易ではないでしょう。
A：問題が大きくなったら解決は難しくて。でも組合員が色々画策してくれて、職場を変えること（大学内で異動すること）ができたんです。
委：それはよかったです。
A：新しいところ行っても、また相談に乗ってもらったり、色々してもらいました。
委：それで、私と職場が同じになって、よく（厚生センター1階にある）組合室で会うようになったんですね。
A：そうなんです。俺、思うんですけど、組合が一番力を出すのって、職場でちょっと嫌な感じがした時に相談に乗ってくれて、大きな問題にならないようにする時だと思います。
委：そういうえばそんな気がしますね。

A：多分それは大きな組合でもそうだと思います。早いうちに組合に入っておく方がいいんですよ。入って、安達さんに相談できるようになつたら、メールってどう書けばいいのか、よく相談に乗ってもらつた。

委：なるほど。メールって意思疎通の方法として意外と効率がわるい。そのくせ、やたらと気を使う必要がある。相談相手がいるっていいですね。

新しい職場と新潟大学という職場

委：五十嵐キャンパスでしばらく勤めた後、転職なさいました。新しい職場は新大と比べてどうですか。
A：転職して改めて新潟大学っておかしな職場だつたんだなって思います。
委：僕はそのおかしさに慣れちゃったかもしれません。良くないですね、気をつけます。

新しく入った労働組合

A：新大の組合の組合費って安くないですか（基本給の1%）
委：委員長が言うのもなんですが、安いって思ったことはないですね。負担感はあります。
A：組合のありがたさが身に染みてるんで、俺はもっと払えます。
委：そういうこともあって、今日は一万円もカンパしてくれたんですね。ありがとうございます。そちらの組合の組合費って（基本給の）1.7%でしたっけ。
A：諸々込めると2%超えます。
委：そうなんですか！でも納めがいもありそうですね。先日、Aさんが入った新しい組合の新聞読ませてもらいました。印刷も編集もプロの品質ですね。完成度が高いです。
A：参考になればと思い前遊びに来たとき置いておきました
委：ありがとうございます。拝読しました。

締めくくり

委：腰痛ということですが、Aさんの体調が心配です。
A：確かに体はきついんですけど、前みたいな悩みはないんで、よかったです。
委：心がきついのって、一番きついですよね。よかったです。また、こちらにも来てもらって、新しい職場のことも教えてください。
A：また近いうちに寄らせてください。
委：今度は一緒に飲みたいですね。

<編集後記>

上記のように楽しい会話を交わしましたが、当時Aさんたちの置かれていた状況は過酷なものでした。楽しい時間を過ごしつつ、今この瞬間も厳しい職場環境に置かれている同僚がいることを忘れないようにします。組合のサポート体制をなんとか維持すること、発展させていくことに力を尽くしたいと思っています。

<新潟大学職員組合 中央執行委員会 発行
委員長：工学部 酒匂（さこう）宏樹>